

塾山

川内小学校の裏にある山の呼称。昔、その一角に青少年の生活の訓練や精神の陶冶を図ることを目的とした修道塾が建てられ、川内小魂の根源を醸成する教育が行われていた。



【子うさぎが生まれました。】

「あめくい競争」とゆでたてのジャガイモ

校長 中川路 和孝

宮里自治会の大運動会に参加しました。先ず会場に入って驚いたのが、設営の素晴らしさです。小学校の運動会よりも立派な設営がなされ、参加者を一瞬でその気にさせるような雰囲気がありました。いただいたプログラムには第55回の文字があり、4年ぶりの開催ということを知ると、やがて60年の歴史ある運動会であることが分かりました。宮里にお住まいの全ての方が参加しているのではないかとと思われるくらい盛況で、しかも皆さんの表情がとても生き生きしていました。

老若男女、種目に出場する側、応援する側、みんなが心の底から楽しんでいる様子が見てとれました。「宮里が大好き」「地域を盛り上げたい」そんな思いが伝わってきました。

また、地元企業2社、およそ50～60人の参加もあり、運動会を大いに盛り上げていました。「地元で根ざした企業」「地域とともにある企業」そんな印象を強く受けました。同時に、学校もそうあるべきだと改めて教えていただいたような気がしました。

さて、運動会の中身の方とは言うところ、高齢者が活躍できるリム回しやグラウンドゴルフなどもありましたが、一番印象に残ったのは男子中学生による「あめくい競争」でした。プログラムどおり「あめくい競争」は実施されましたが、綺麗な顔のままの男子中学生は、地域の皆さんの期待に応えられなかったという空気を察知したのか、自ら2回目を申し出て(?)、今度は見事場内の笑いをかっさらい、拍手喝采を浴びるようなパフォーマンスを發揮してくれました。地域の皆さんに喜んでいただきたいという、男子中学生の郷土愛に満ちあふれた行動に、宮里はこれからも安泰だと温かい気持ちになりました。

宮里の運動会を皮切りに、スポーツの秋が幕を開けました。今年は、鹿児島国体も開催され、先日は県選手団の横顔が新聞で紹介されていました。ローイング(ボート競技)では、川内中央中出身で川内高校の女子生徒が紹介されていました。ひょっとしたら本校出身かもしれない、しかもふだん本校区内の川内川で練習をしている生徒が国体に出場するわけですから、全力で応援したいと思います。

昔の話ですが、平成元年、北海道で開催された「はまなす国体」に、同じくボート競技で出場しました。県ボート競技選手団は、最果ての地、網走にある網走漕艇場に入村しました。入村式では、国旗と共に鹿児島県の旗が掲揚されると、胸に熱いものが込み上げてくるのを感じました。私は、シングルスカルという一人乗りの競技に出場し、見事予選敗退という結果に終わりましたが、国体に出場した経験が後の人生を支えてくれるものとなりました。

試合後、編成所近くのエイドステーション(食べ物や飲み物を提供する場所)を通り過ぎようとした時、テントの中から明るく弾むような声に呼び止められました。何と声をかけられたのか、はっきりとは分かりませんが、白い湯気の向こうから地元のおばちゃんが、ゆでたてのジャガイモを差し出してくれました。試合直後で息が上がっていましたが、おばちゃんの強い勧めもあり、咳き込みながらゆでたてのジャガイモを食べたのを覚えています。ゆでただけのジャガイモでしたが、汗と涙の味付けで、ちょうどよい塩加減になっていました。今でもスーパーで北海道産のジャガイモを見付けると、あの網走のジャガイモを思い出して、何となく咳込みたくなります。

さて、小学校でも子供たちが運動会の練習を一生懸命がんばっています。当日「あめくい競争」はありませんが、家族や地域の皆さんの期待に応えようと、白塗りならぬ顔を真っ赤にして頑張る子供たちの姿が目に見えます。10月8日(日)皆様の御来場をお待ちしております。

芸術鑑賞会が行われました。

9月6日に芸術鑑賞教室が行われました。今回は、関西フィルハーモニー管弦楽団の皆さんに来ていただき、オーケストラの演奏を聴かせていただきました。また、今回SSプラザせんだい大ホールをお借りして行いました。大迫力の演奏が続き、子供たちはすばらしい楽器の音色に聴き入っていました。最後の曲は川内小校歌で代表の児童による指揮体験をさせていただき、児童の指揮により楽団の皆さんが演奏するという貴重な体験もさせていただきました。普段、あまり目にする事のないオーケストラの演奏、さらには聞いたことのある曲を交えて演奏していただき、子供たちは奏者に向かって「ブラボー！」と大喜びでした。芸術の秋にぴったりの演奏会となりました。



◆児童がオーケストラ鑑賞 薩摩川内市の川内小学校の全校児童が6日、SSプラザせんだいで関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートを鑑賞した。文化庁の学校巡回公演事業、団員約60人が動物がテーマの曲やベートーベンの曲などを演奏した。みんなで歌う同校の校歌は6年の屋島颯星君が指揮を担当。「緊張したが、100点でなかったけれど楽しくできた」と

【南日本新聞で紹介されました】

児童・教育実習生・職員がんばっています～教育実習～

9月4日から8日までの5日間、鹿児島純心女子大学の4名と15日までの10日間、福岡教育大学の1名がインターンシップとして、川内小学校に来てくれました。授業参観を中心に、ときには身体測定の補助等、授業補助など一生懸命活動に取り組みました。19日からは、鹿児島大学教育学部4年生9名が教育実習生としてがんばっています。子供たちは、優しく指導し、一緒に遊んでくれる実習生のことが大好きです。実習生にとっても学校現場での実習は貴重な機会となるでしょう。この教育実習は、川内小職員にとっても初心を振り返るとてもよい機会です。みんなで有意義なものにしていきます。



入賞おめでとう！



◆「歯と口の健康週間」図画・ポスター一展

金賞 3年 上栴 葉菜 銀賞 1年 河野 恵大 上口 詩音 2年 岩田 果歩
5年 櫃ノ上 琉椛

◆ 薩摩川内市理科作品審査会

特選 〈研究記録〉 1年 山元 蓮 6年 城ノ下 和歌 豊島 圭悟
〈昆虫標本〉 6年 慶田 和紗 〈貝類標本〉 4年 西菌 優那
入選 〈研究記録〉 3年 井村 蓮 常盤 結菜 川畑 堇 西 夏凜
4年 折田 彩 藤井 渚 東 愛夢
5年 本田 啓翔 大漣 環心 菊地 棕翔 神崎 宗士朗
6年 外島 莉奈

◆ 県児童生徒作文コンクール薩摩川内市審査会

特選 1年 瀬戸口 渚 2年 柳 瑛汰 4年 四元 勇成 5年 山元 勇心 6年 谷川 可純
入選 1年 川路 ももか 2年 中原 實仁
3年 神崎 正士朗 川畑 堇
4年 福村 琴菜 6年 折田 裕大

◆ 県図画作品展

特選 6年 新屋 美玲

◆ 子供大綱引応援旗デザインコンテスト

最優秀大綱大賞 川内小学校



< 9月・10月の行事 >

月	日	曜	行事等	月	日	曜	行事等
9	19	火	鹿児島大学教育実習 (10/2まで)	10	8	日	運動会 (雨天順延)
	26	火	運動会役員打合せ		28	土	薩摩川内はんやジュニア大会
	28	木	実習生評価授業 (~29日)		31	火	学校自由参観 (~11/2)
10	3	火	運動会予行		31	火	修学旅行説明会 (6年)
	5	木	運動会準備 (会場作り)				